

渡航

- 8月30日深夜 関西国際空港 出発
- 8月31日早朝 ドバイ空港 経由
- 8月31日夕方 アドナンメンデレス空港 到着

ドバイ経由でイズミルに。トランジットの7時間でブルジュハリファに登りました。



滞在場所

ホスト；3週間弱の間ホストファミリーの家に滞在していました。英語が通じなかったので身振り手振りで意思疎通をしていました。夕食はトルコのご家庭料理をいただきました。本当に家族のように接してくれて貴重な体験でした。

寮；9月の最終週から入寮が許可されました。布団以外何もなくて、日用品を買わなくてははいけません。不便を感じることはありましたが今では学校の敷地内にある立地にとっても満足しています。



語学学校

10日間弾丸で語学学校に通うことに。新しい言語を学ぶのはとても楽しくて続けたいと強く感じました。何のトルコ語もわからない私にも先生はとても親切に教えてくれました。一緒にご飯を食べてくれたりして今でも連絡をとっています。

イベント、休暇

9月9日はイズミルのギリシャ軍の占領から解放された日。100周年を祝ってタルカンさんというトルコの人気歌手がイズミルに。友人に誘われ200万人の集まる熱気に包まれながらコンサートを楽しみました。



ESN (Erasmus Student Network)

学校には ESN と呼ばれる留学生と現地の学生の交流コミュニティがあります。Erasmus とはヨーロッパで主流になっている交換留学制度で現地では留学生のことを示す場合があります。ESN に入るとバディーシステムがあり留学生それぞれに現地の学生のバディーがついて困りごとがあれば助けてくれます。ESN では主に留学生に向けた様々なイベントをアナウンスしてくれます。パーティーやエフェソス旅行、ポートツアー、ピクニック、トルコ流朝ごはんを食べる、イズミル探索ツアーなど旅行から単なる食事まで様々です。ESN カードを作成したら様々なイベントに割引価格で参加することができます。様々な国からきた留学生と出会うことができました。



▲ 私のバディー。

公共交通機関

イズミル市街地は主にこの交通手段です。

- | | |
|--|----------------|
| <ul style="list-style-type: none">・メトロ (電車、地下鉄)・イズバン (少し高い電車)・トラム (遅い路面電車)・イズデニズ (船)・バス (一般的なバス)・ドルムシュ (乗合バス) | <p>イズミルカード</p> |
| | <p>現金</p> |

交通費は日本と比較すると圧倒的に安いです。学生用のイズミルカードを発行すると約半額に。

感じたこと

トルコの人とはとてもフレンドリーで友達の輪がどんどん広がります。家族のように接してくれて困り事があると助けてくれます。私自身たくさん助けられました。この報告書に書ききれないので少し残念ですが遊びにもたくさん誘ってくれてトルコの文化やイズミルをたくさん知ることができました。それと街の人は大概英語が通じないので今は英語よりもトルコ語を勉強したいです。



▲ 私のお気に入りには圧倒的に船です。使用頻度は圧倒的に低いです。ですが景色が綺麗です。

今後の課題

とりあえずイカメット取得です。90日以上滞在する人が取得しなければいけないトルコのビザのことで様々な書類を用意しなくてはならず時間がかかっています。それと履修です。履修する際に大概の人は何かしら問題が発生しているので担当オフィスや教授とコミュニケーションをとることが必須です。自身の学習したいことを新しい仲間と学ぶことができるのを楽しみにしています。